



シャープ事業戦略

取締役社長
町田 勝彦

2005年2月16日

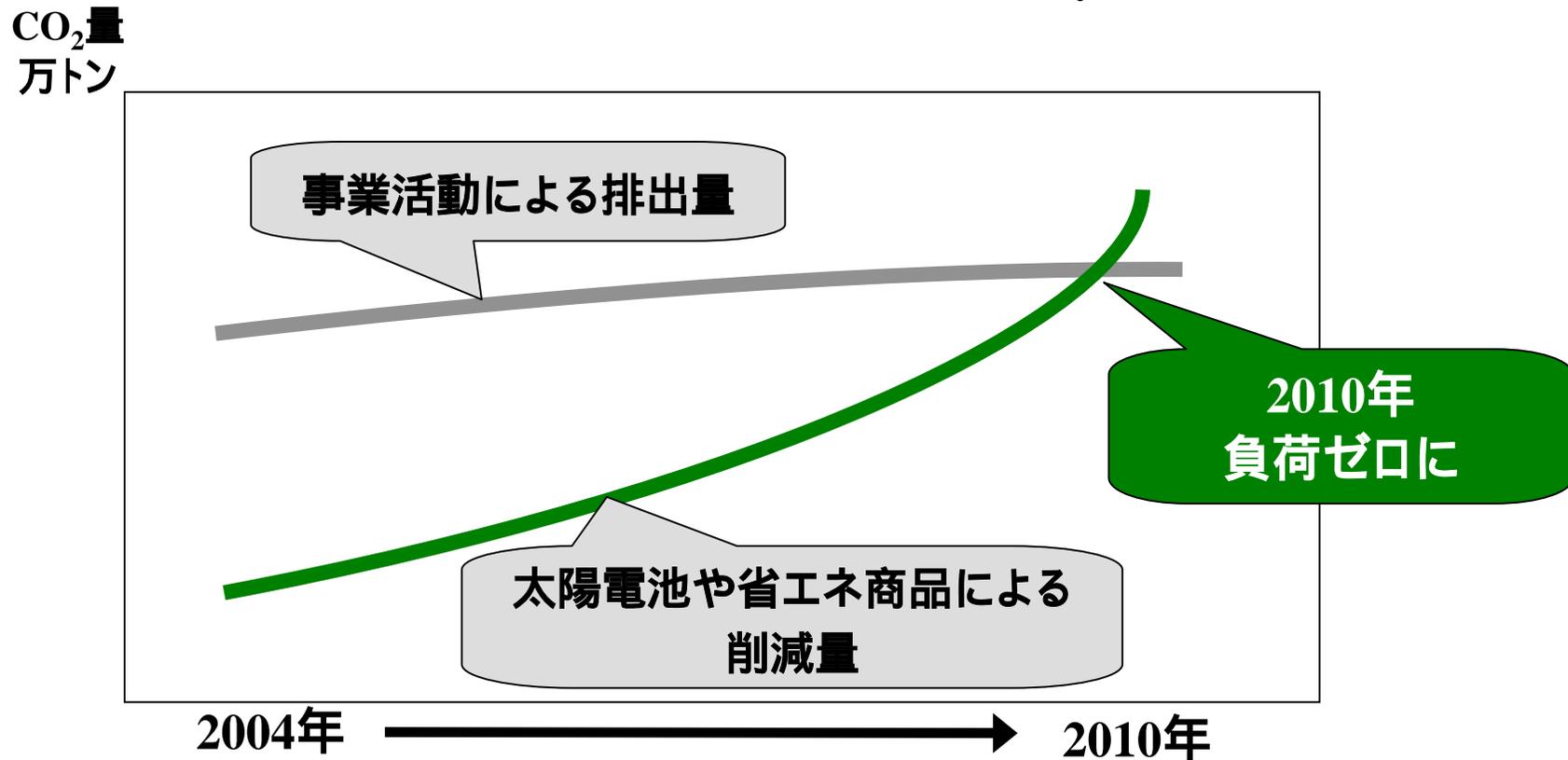


SHARP

・環境先進企業を目指して

2010年までに温暖化負荷ゼロ企業を目指す

温室効果ガスの排出量と削減量を
2010年までにバランスさせる。



環境技術なくして企業の成長はなし

省エネ



液晶テレビ

創エネ



太陽電池



環境先進企業を目指す

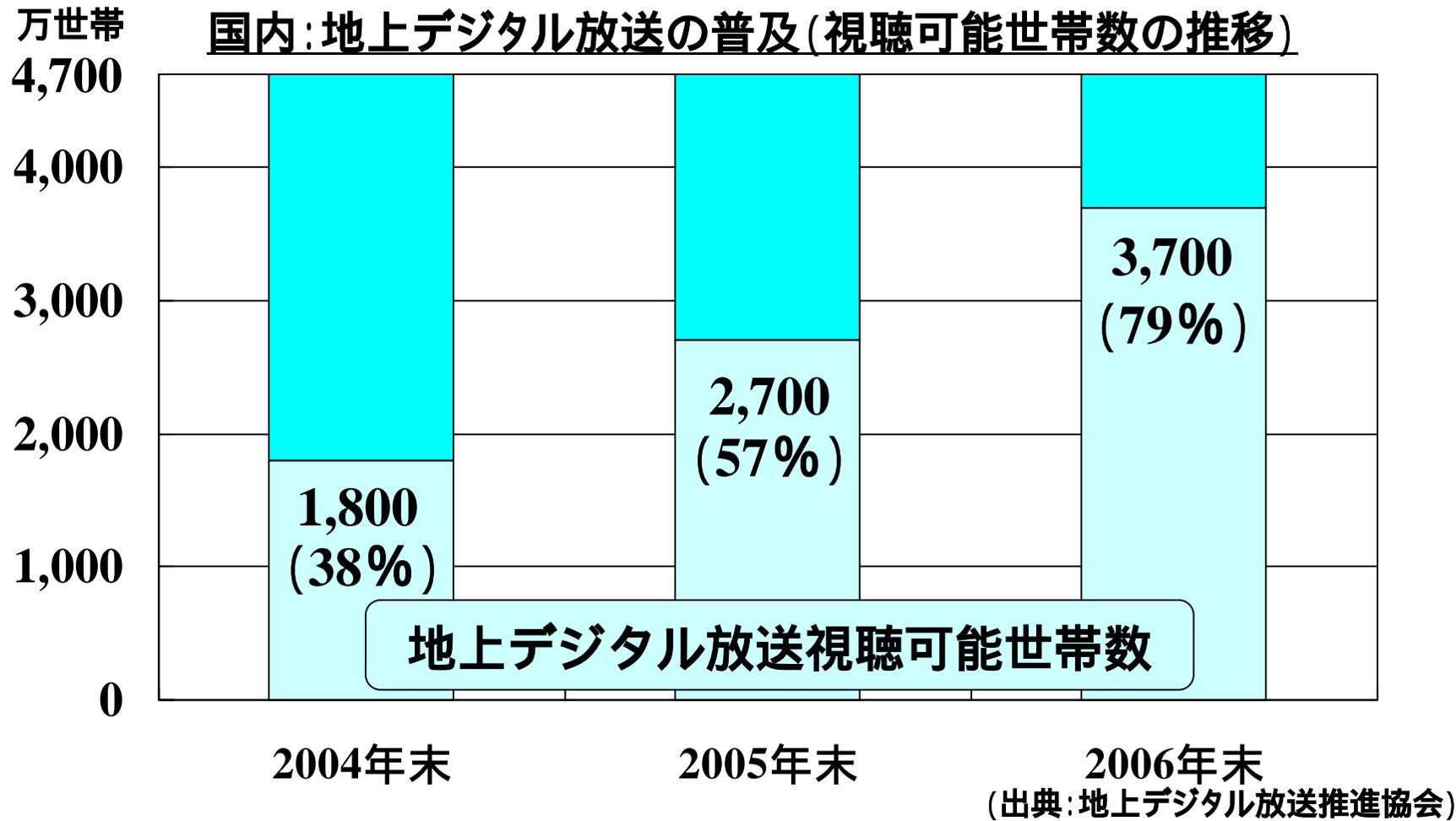


・当社の事業戦略について

1. 液晶テレビ/大型液晶

1. 液晶テレビ/大型液晶

(業界)テレビ放送 高画質化の流れ



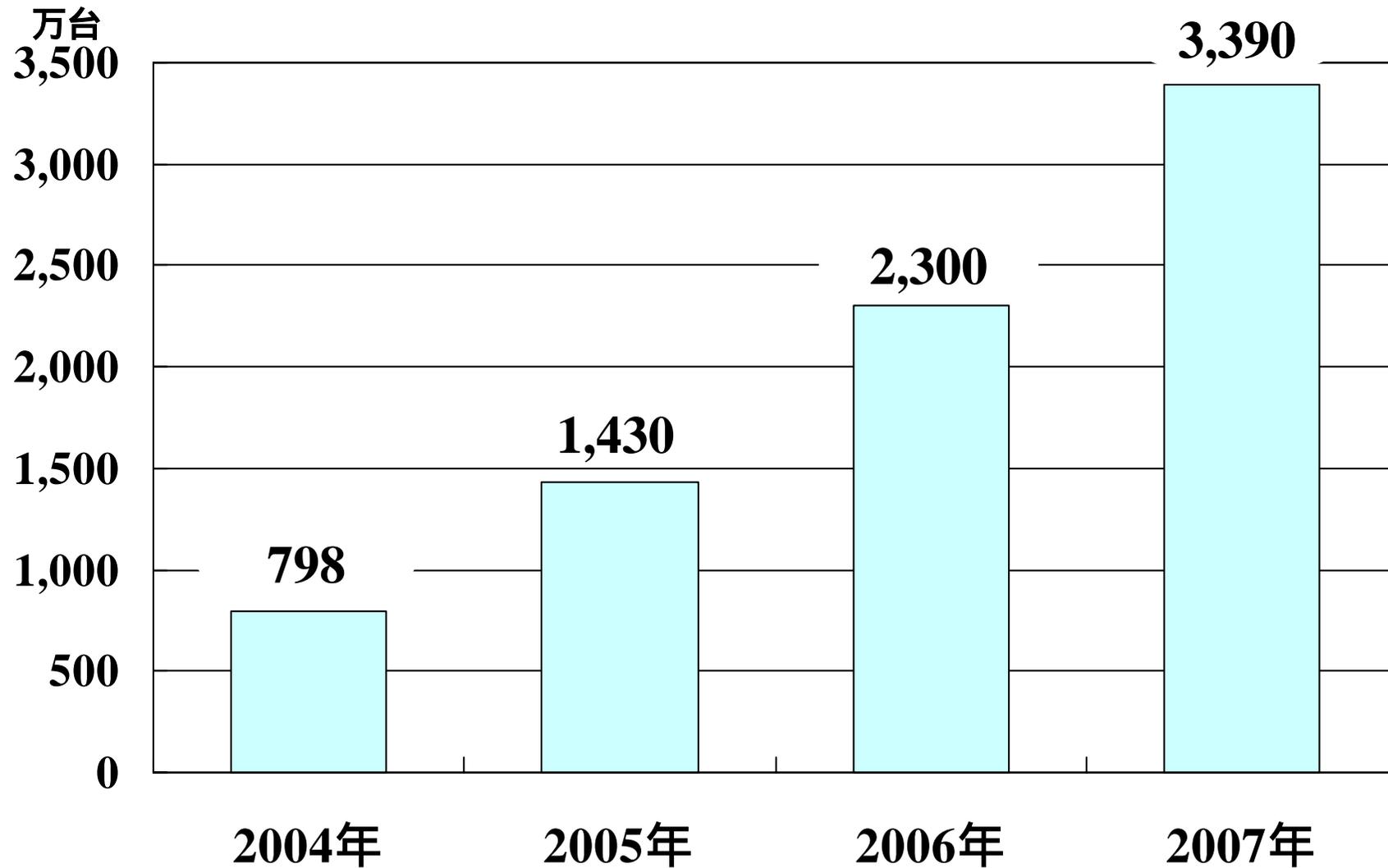
2005年インターナショナルCES



(2005 international CES)

SHARP

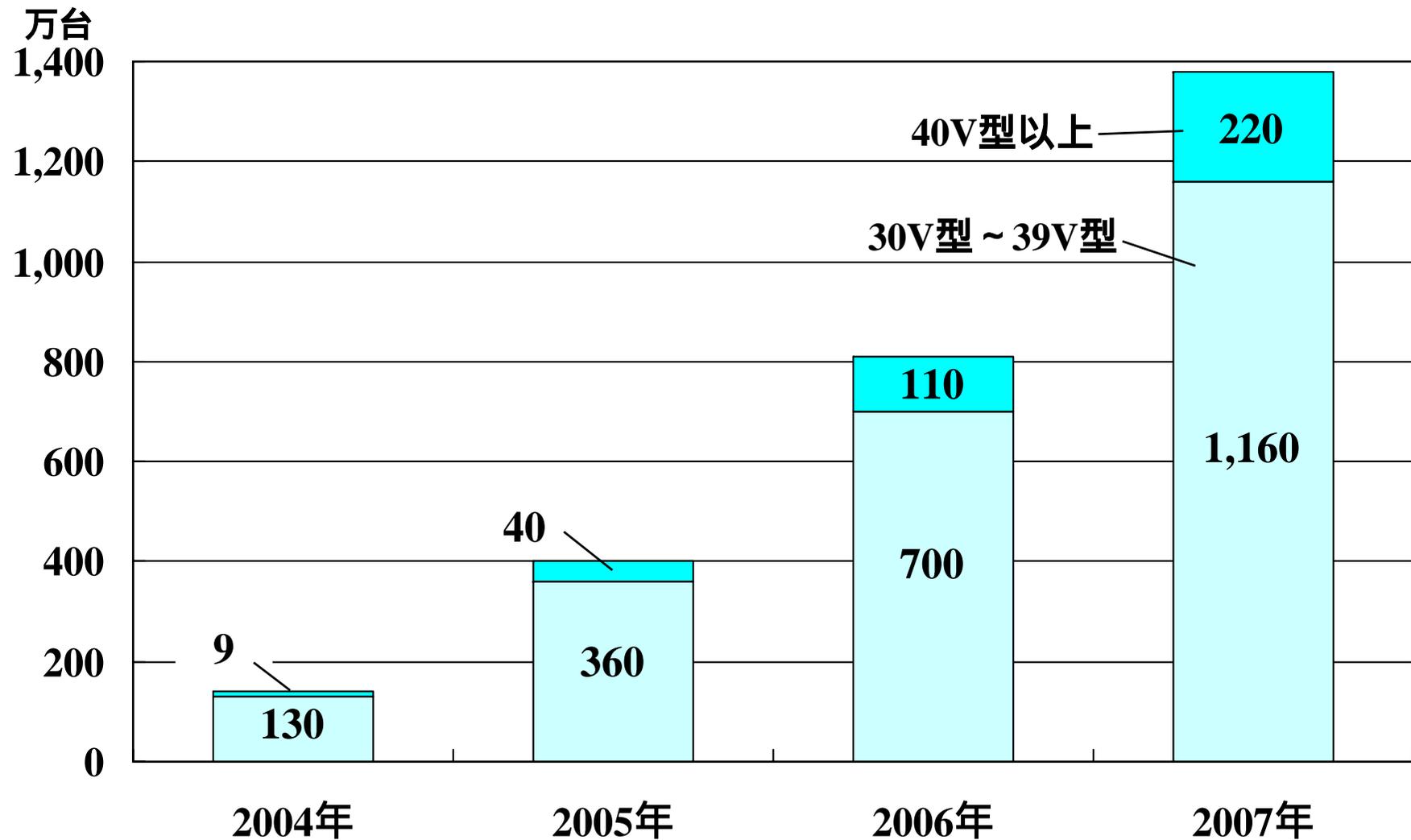
(業界)液晶テレビ世界需要



(出典：JEITA)

SHARP

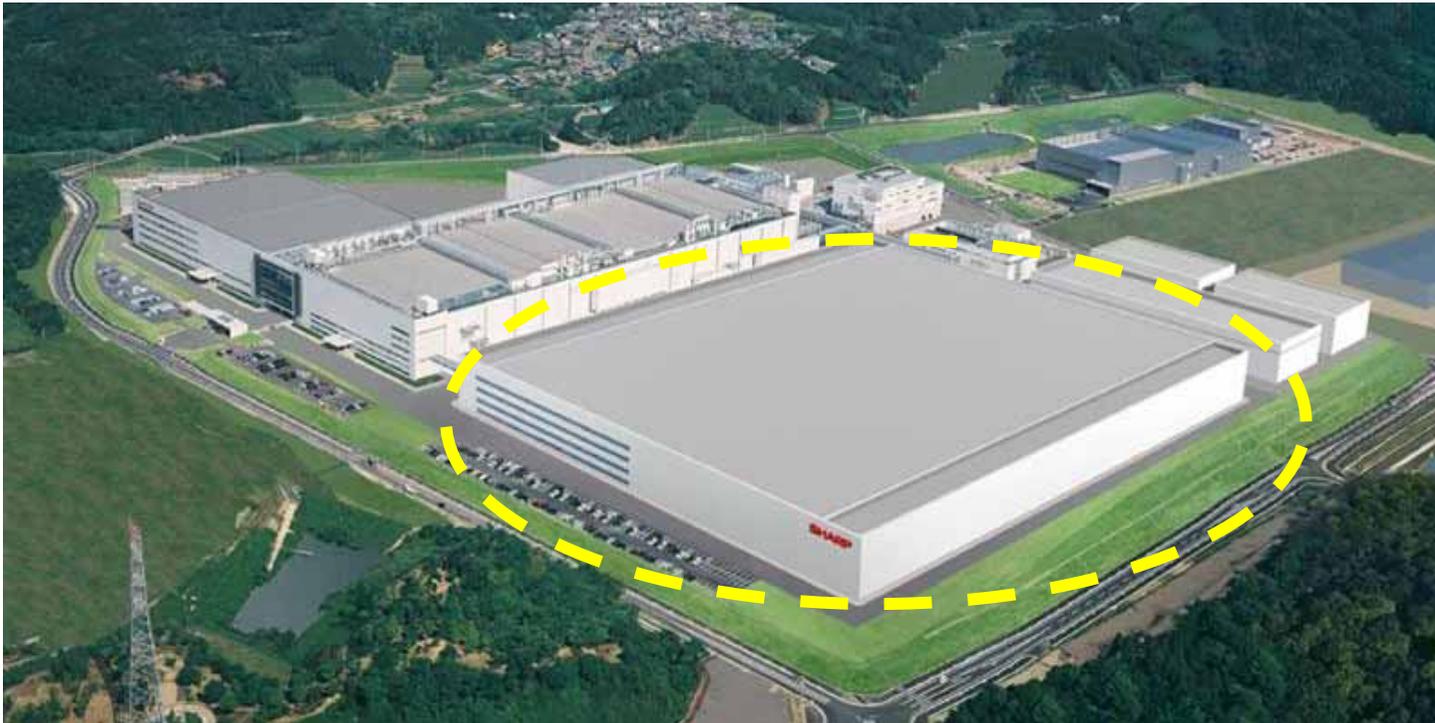
(業界)大型(30V型以上)液晶テレビ世界需要



(総需要予測[JEITA] × サイズ別構成比予測[当社] にて算出)

SHARP

(当社)亀山第2工場



稼動時期:2006年10月

設備投資額:1,500億円

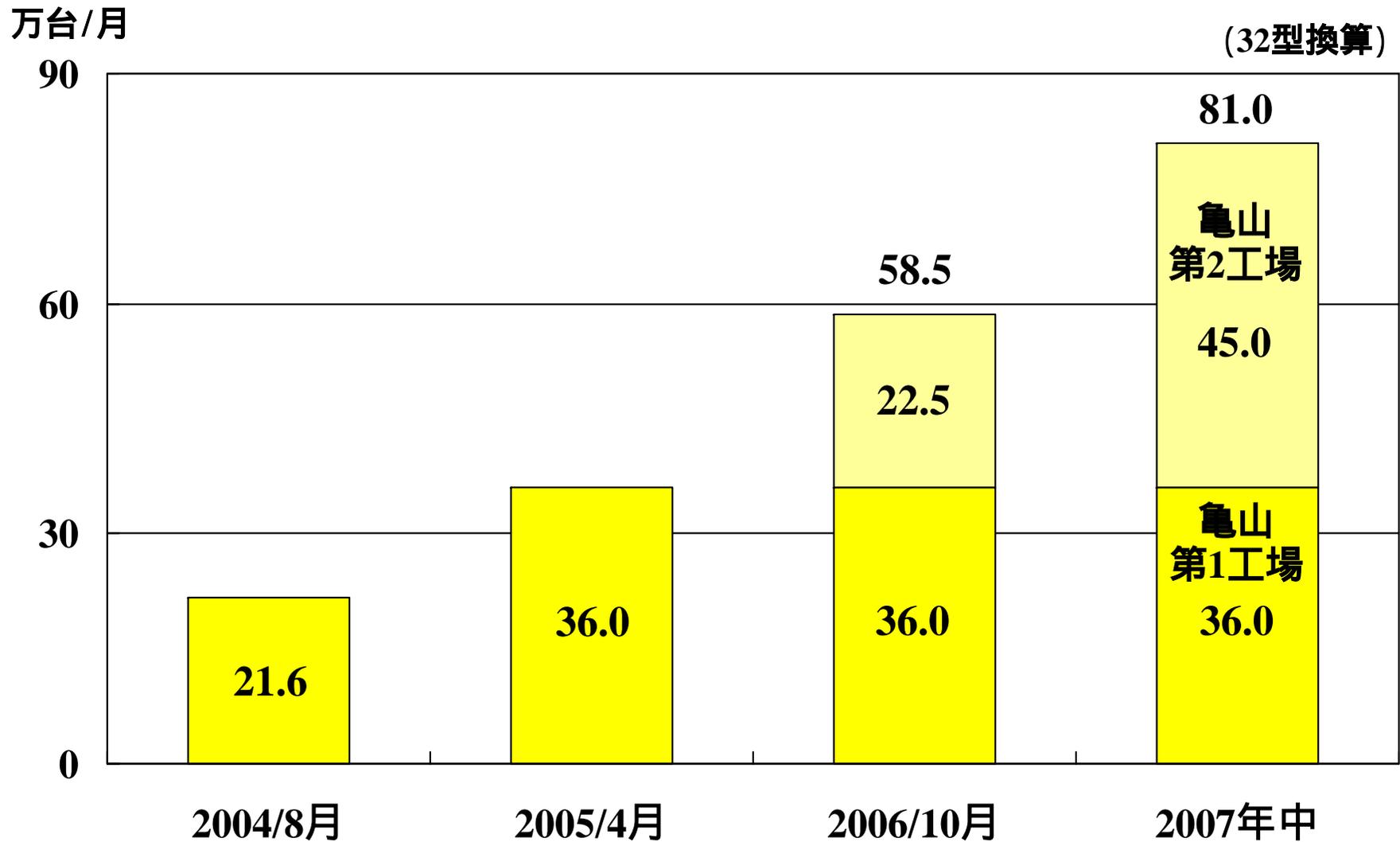
世界最大のマザーガラス(2,160×2,400mm)採用

40型クラス8枚取り、50型クラス6枚取りが可能

投入枚数:月15,000枚(2007年中に月30,000枚に増強予定)

SHARP

(当社) 亀山工場の生産能力拡大計画



(当社)亀山第2工場におけるコスト力強化策

部材のコストダウン

設計段階からの部材メーカーとの共同開発

・バックライト、カラーフィルター、偏光板など

工場の高密度レイアウト設計

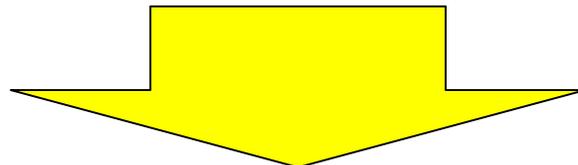
工場内の搬送距離・生産リードタイムの半減

(亀山第1工場との比較)

2. 中小型液晶

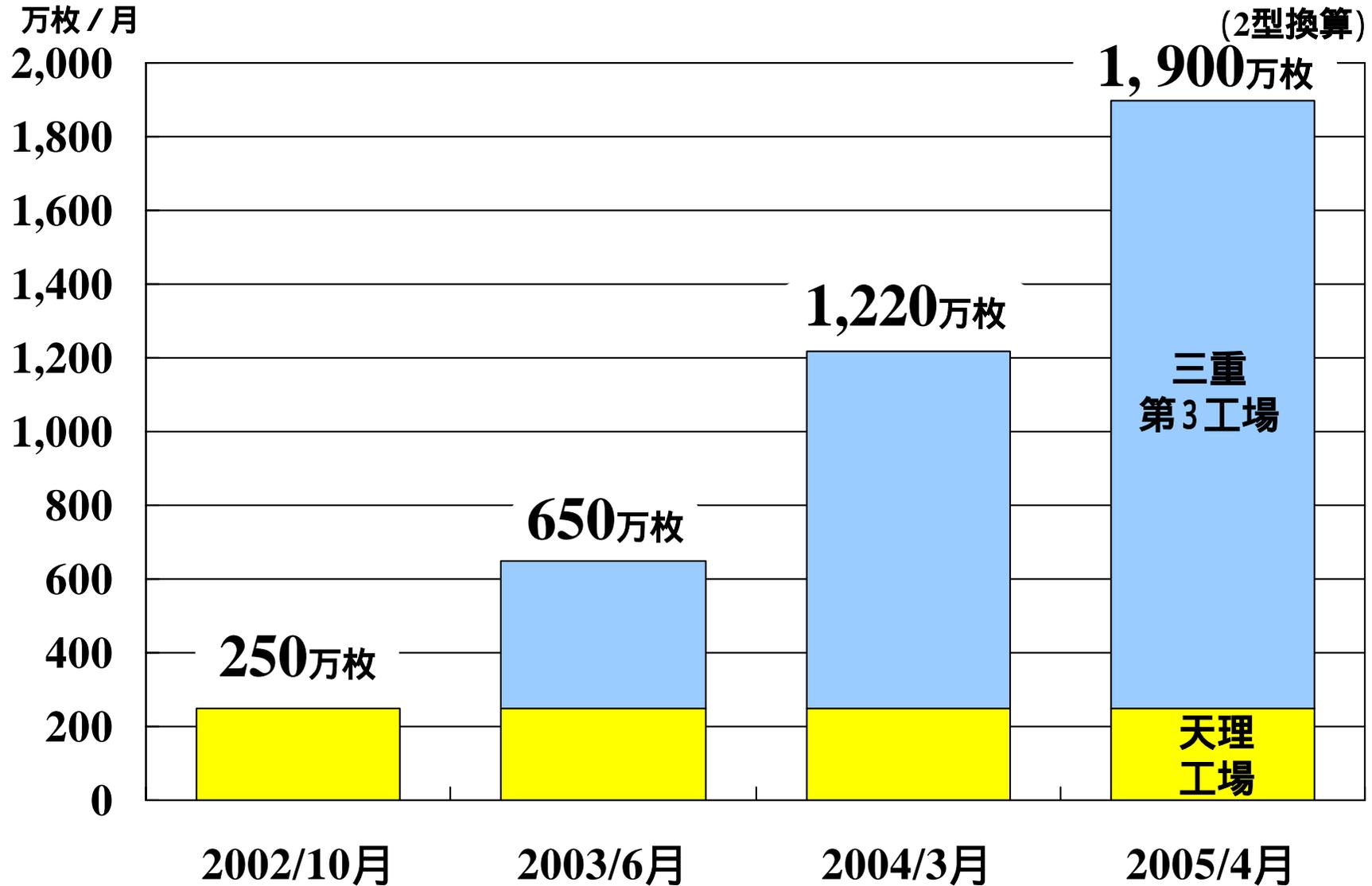
事業環境

携帯電話のカラー化・高機能化の進展など



システム液晶をはじめとする
高精細な中小型液晶に対する需要が拡大

(当社)システム液晶 生産能力



(当社) 中小型液晶の取り組み

液晶技術・ノウハウのブラックボックス化

知的財産権の活用

新たなアプリケーションへの展開

3. 太陽電池

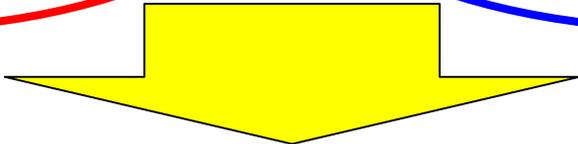
事業環境

エネルギー問題

- 中国の電力不足
- 大規模な停電の発生
- 原油価格の高騰

環境問題

- 二酸化炭素排出量の増加
- 世界各地での異常気象



再生可能エネルギー導入への気運の高まり

(当社)太陽電池設置事例(国内)

住宅用システム



産業用システム



SHARP

(当社)太陽電池設置事例(海外)

10.1MW: ドイツ(バイエルン州)



写真提供 PowerLight

1.7MW: ドイツ(バイエルン州)



400kW: アメリカ(カルフォルニア州)



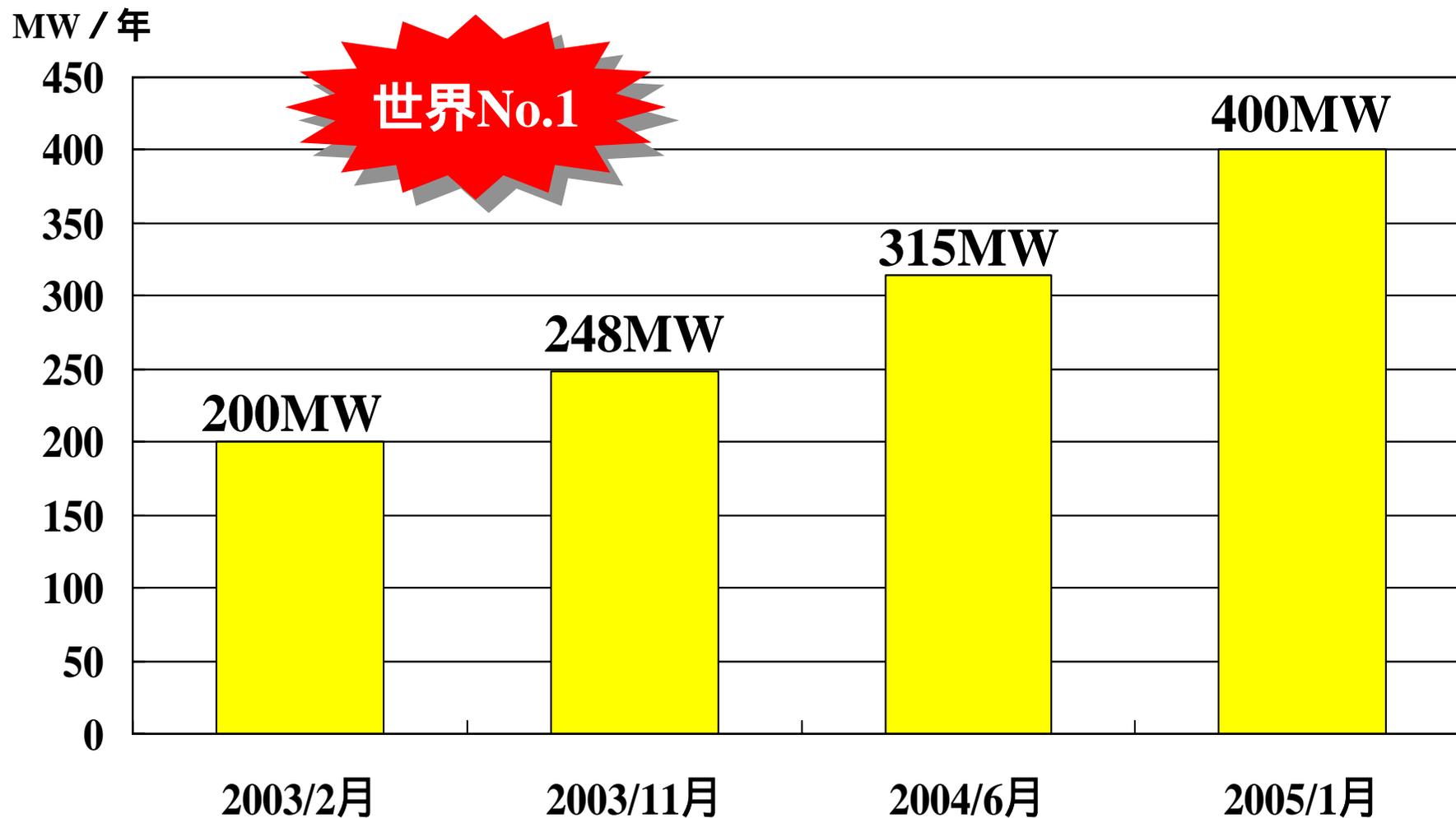
写真提供 PowerLight

350kW: オーストリア(ザルツブルク州)



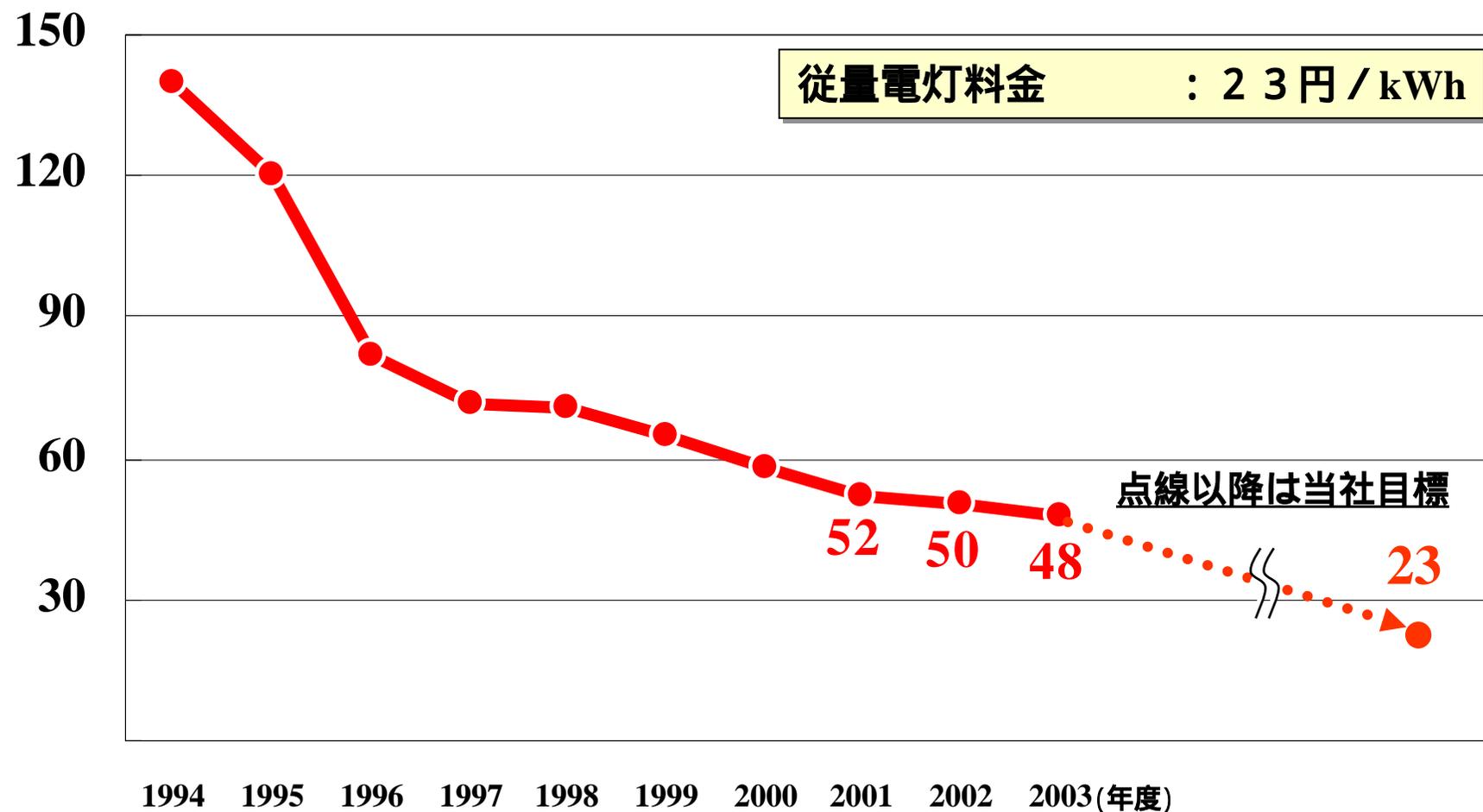
SHARP

(当社)太陽電池の生産能力



国内住宅用太陽光発電単価推移

円 / kWh



(出典：経済産業省データを基にシャープ推定)

SHARP

(当社) 光る太陽電池 ルミウォール

Lumiwall
ルミウォール

シースルー
薄膜太陽電池

+

省電力長寿命
高輝度LED

||

発電

採光

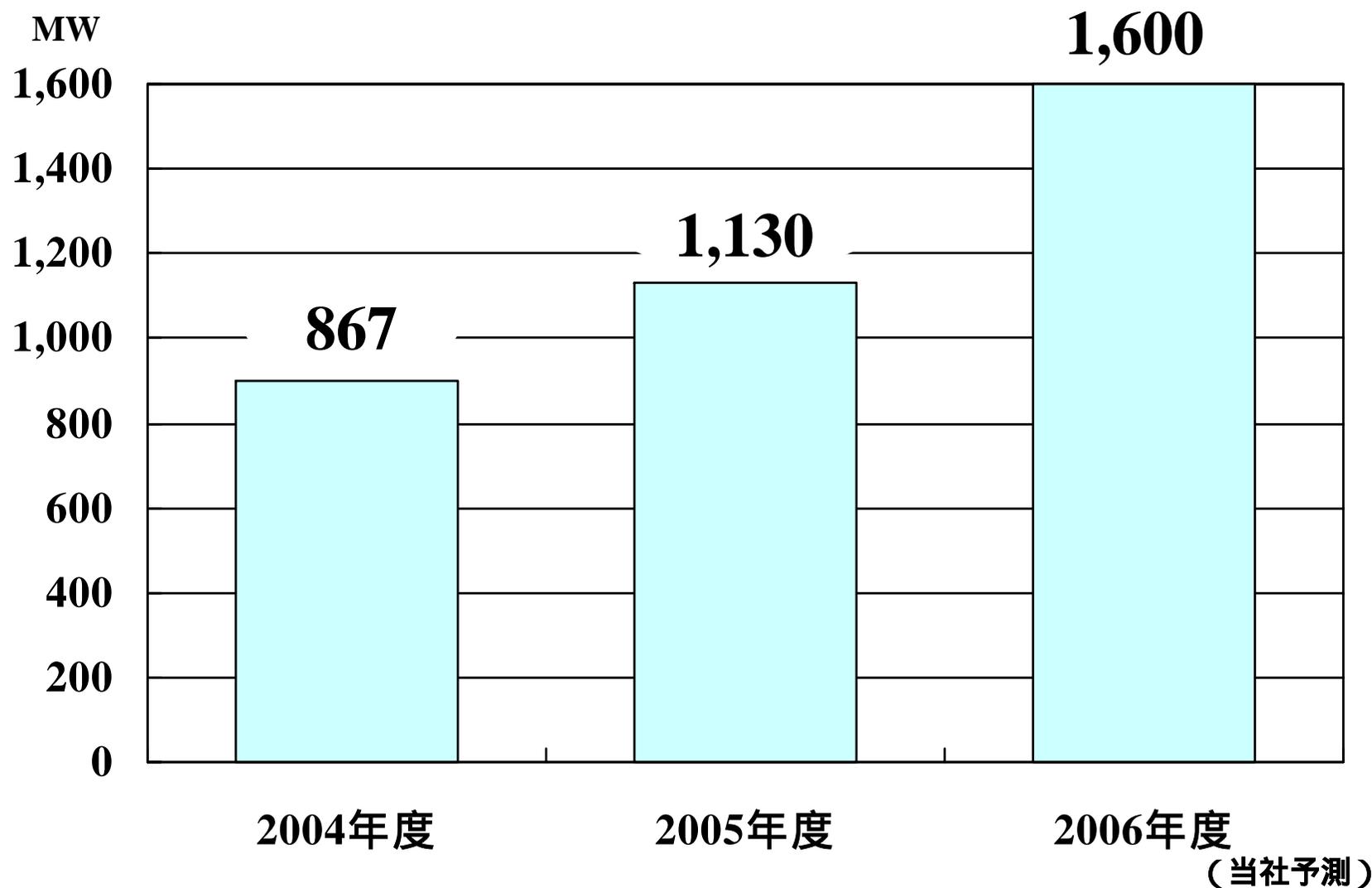
発光

3機能の集約を実現



SHARP

(業界)太陽光発電の世界需要



SHARP

・ 全社中期目標について

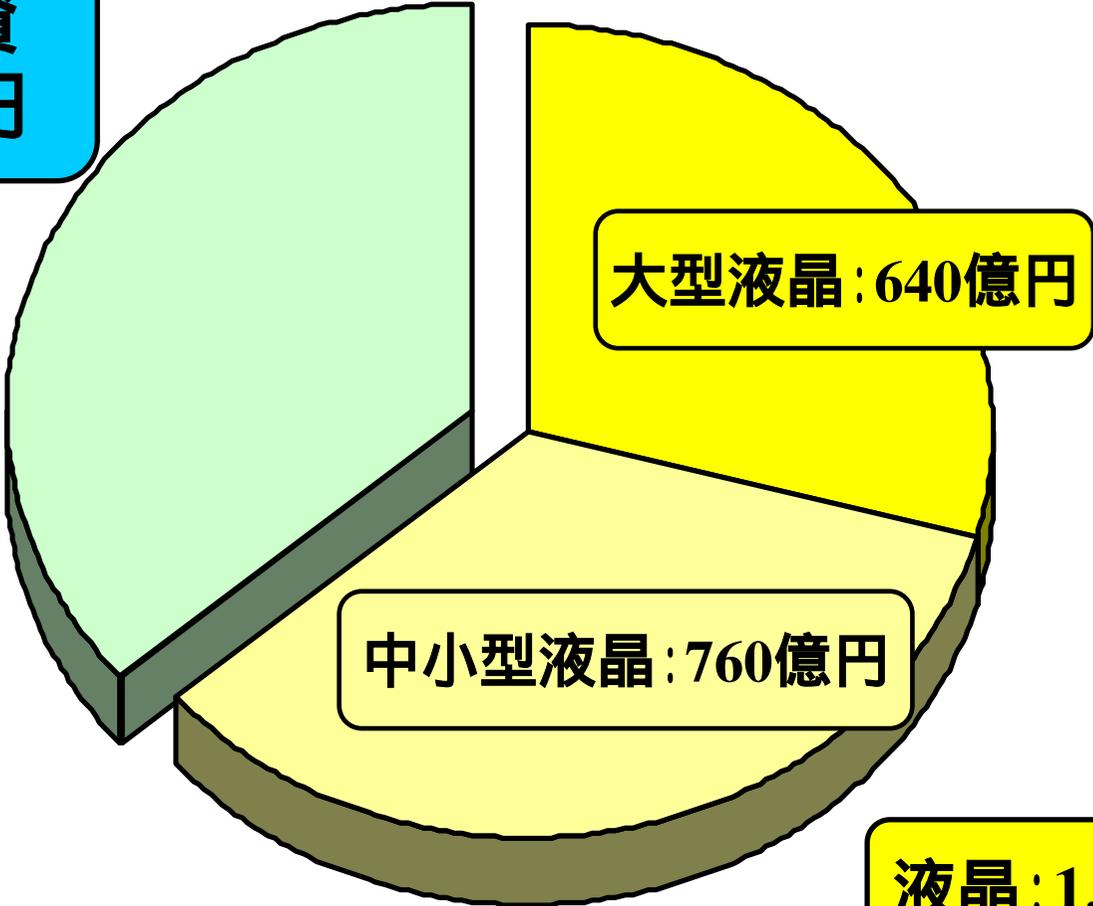
(当社)中期目標

**[2007年度売上高]
3兆3,000億円**

・設備投資について

(当社)2005年度設備投資計画

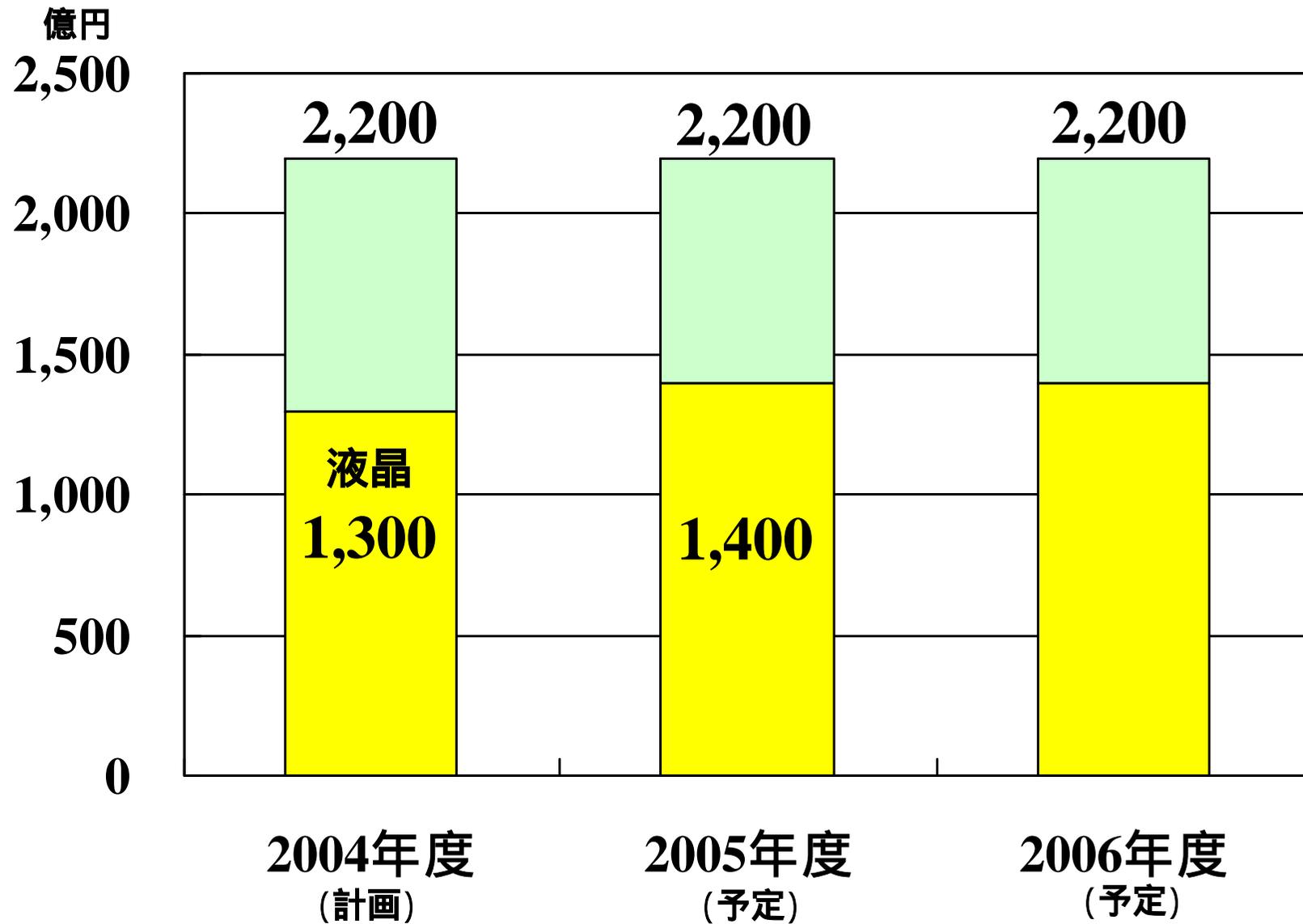
設備投資
2,200億円



2005年度(予定)

液晶:1,400億円

(当社)設備投資見通し



SHARP

【見通しに関する注意事項】

当資料に掲載されている内容は、当社の将来の計画や戦略、業績に関する見通しについての記述が含まれています。これらの記述は過去の事実ではなく、当社が現時点で入手可能な情報に基づいた判断によるものであり、経済動向、需要動向、競争の激化、為替レート、税制や諸制度にかかわるリスクや不確実性を含んでいます。実際の業績は、これらの見通しとは異なる結果もあり得る事をご承知おき下さい。